

元寮生・訓練生は今・・・



元気かな～



2021年1月(31期生)として訓練に参加したS君(当時17歳)に話を聞きました。幼少期に両親が離婚。祖母と母親と3人で生活していた。母親と折り合いが悪く、祖母にかわいがってもらった。友達はいたがサボり癖もつき中1から学校に行かなくなったが、母親は何も言わず、期待されていないと感じた。進路についても相談する家族がいなかった。中学の卒業式は寝坊したが、友達が迎えに来てくれて嬉しかった。担任から紹介された定時制高校に進学したが、高校の入学式も寝坊。誰も迎えに来ず、緊張の糸が切れた。

生活保護を受給していたので、支援員の人と顔を合わせるうちに、アルバイトに採用されたが、初日に寝坊し辞めた。振り返ると、この頃は自分を過信し、何とかなる!と人生を舐めていた。その後、支援員から合宿訓練を勧められた。最初は集団生活に慣れず、馴染むのに時間がかかった。できないこと、ムリな時もあったが、辞められないと思っていた。職場実習先の環境が合わず、行きたくない泣いたこともあった。そんな中やりたいことが見つかった『一人暮らし』。合宿終了後、家に戻り前の状態に戻るの嫌だったし、地元の友達にも会いたくないので、自立するしかない!でも同時に時間が足りないとも思った。が、合宿で頼れる環境や人に出会い、一人暮らしに向けて動いた。

就活の段階になり、合宿訓練のOBが働いている福祉施設の担当者と顔合せをした。学童と特養どちらも採用され、学童に行きたかったが、信頼しているスタッフに特養を勧められ、それなら、と決めた。働き始めて3か月で生活保護を抜け、勤続3年。続いている理由は職場環境が良いから。一人暮らしではオンラインゲームでの友達も多くでき、プライベートも充実。コミュニケーションは大切だと思った。

最後に実家に帰ったのは1年半前。母親からの連絡は未だにスルーしている。今が充実しており、これからも母親との関わりは持たず生活していこうと思う。もし今の仕事を辞めても、次を探す。多摩サポという頼れる環境があるので、遠慮なく利用しようと思う。合宿訓練は未来を考えるきっかけになった。

今は20歳になり、見違えるように成長したS君。先日、某市の講演会で元当事者として、多摩サポのスタッフと登壇し、過去・現在の自分を語ってくれました。『未来を考えるきっかけ』のお手伝いができてよかったです。

◆今月の寮生・訓練生の内訳◆

【年齢】16歳～42歳 【平均年齢】27.3歳(訓練生が入れ替わると大きく変動します)

【状況】正社員で就労中の寮生2名が12月末での卒寮を目指し、新居探しを始めました。いずれも福生市内に住む予定です。アルバイト中の寮生たちもほぼ継続しており、年末にかけて忙しい時期に入ってくると思います。

◇編集後記◇

ニート甲子園とそのため練習、文化祭と準備、福生市の広報誌のポスティング等作業でも忙しかったこのひと月。八王子市の事業で実施したセンターの寮に3泊4日しながらの林業研修@青梅や、毎年受け入れているこども家庭庁主催のアウトリーチ研修3名の現地研修も重なり、慌ただしくも、様々な交流や出会いがあり、あっという間に11月も後半。大流行中のインフルエンザに備え、希望者を対象にセンターでは恒例の集団接種。寒さや感染症に負けず、年末を乗り切ろうと思います!

今月の1枚



元プロボクサーが教える「就職できるからだづくり」セミナーを開催。シャドーボクシングも教えてもらいました。